

外郭団体評価調書【株式会社用】

1. 基本情報

令和4年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目11番7号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 植木 正明	電話番号	025-386-1212
	株式会社 ハート 代表取締役	ホームページ	http://www.toyosaka-tmo.com
市所管課	北区役所 産業振興課	電子メール	tmo@icss.jp
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし、地域の暮らしに貢献する企業をめざす ・社会的信頼・信用の高い企業をめざす		

2. 主要事業

事業名①	市街地活性化事業								
事業概要	(概要) ①葛塚魅力創出プロジェクトの企画・運営 (うまいもん市場、婚活イベント、似顔絵事業 等) ②北区の魅力発信 (ホームページ、観光レポーター 等) 企画・運営								
	<市政へどのように寄与・貢献するのか> ・北区 区ビジョンまちづくり計画に位置付けられている「活力ある産業のまち」～魅力ある産業の振興」に向け、まちづくり会社として具体的な事業展開を図っている。								
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
-	-	支出額	千円	予算	2,500	2,200	2,200	2,200	
				決算	2,500	2,500	2,200	-	
活動指標①		単位	計画	実績	達成・未達成の理由				
婚活イベント「ダイコン」の参加者	R4		80						
	R3	人	80	38	コロナの影響により、2回実施の予定が1回しか開催できなかったため、未達となった。				
	R2	人	80	64	前年度末に蔓延したコロナの影響により、1回目の参加者が少なかったことにより、目標が未達となった。				
	R1								
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
うまいもん市場の出店数	R4	店	20						
	R3	店	20	24	次年度の本格実施にあたり、10月に試行的に開催したが、関係者の努力により、予想を上回る出店があった。				
	R2								
	R1								
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
観光レポーター2名のフォロワー数	R4	人	500						
	R3	人	500	463	レポーターが趣向を凝らした投稿をするなど工夫をしたが、目標には至らなかった。				
	R2	人	500	352	SNS開始にあたり、各種広報や登録を依頼するなどし、目標達成に向け努力をした。				
	R1	人							
所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	商業地の活性化及び観光資源の情報発信等により区ビジョンの交流人口拡大を図っている。個々の事業については検証が必要であるが、関係者と協議し、一体となって事業展開を図っていることを評価する。								

2. 主要事業

事業名②		収益事業						
事業概要	(概要) ①「ヤマザキショップ豊栄駅前店」の運営 ②「豊栄駅前時間貸し駐車場」の運営 ③「道の駅豊栄」の運営							
	<市政へどのように寄与・貢献するのか> ・「道の駅豊栄」を運営し、国道でのオアシスの役割を担うとともに、区内の特産品の販売を行う。また、この収益をもって民間での運営が難しい豊栄駅構内のショップ運営や駐車場、レンタル自転車管理を行い、区民及び来訪者への利便性向上を図っている。							
事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
-	-	収入額	千円	予算	100,600	93,000	95,500	76,500
				決算	95,189	77,673	89,828	-
活動指標①	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
ヤマザキショップ 豊栄駅前店の売上増加	R4	千円	18,000					
	R3	千円	24,000	16,965	コロナ禍によるJR豊栄駅の乗降客が減少したことにより、計画未達となった。			
	R2	千円	23,000	17,702	コロナ禍によるJR豊栄駅の乗降客が減少したことにより、計画未達となった。			
	R1	千円	27,500	23,841	コロナによる3月からの外出自粛の影響により、JR豊栄駅の利用者が減少し、売り上げも減少した。			
活動指標②	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
豊栄駅前時間貸し 駐車場の売上増加	R4	千円	2,500					
	R3	千円	2,500	2,385	コロナ禍による外出自粛の影響から駐車場利用者減少により計画未達となった。			
	R2	千円	2,500	1,836	コロナ禍による外出自粛の影響から駐車場利用者減少により計画未達となった。			
	R1	千円	3,100	2,784	コロナによる3月からの外出自粛の影響により、駐車場利用者が減少した。			
活動指標③	年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由			
「道の駅豊栄」の 売上増加	R4	千円	56,000					
	R3	千円	69,000	70,478	車利用者のコロナ禍からの回復が見られ、計画を上回る実績となった。			
	R2	千円	67,500	58,135	コロナ禍による外出自粛の影響から道の駅利用者が減少し計画未達となった。			
	R1	千円	70,000	68,564	コロナによる3月からの外出自粛の影響により、道の駅利用者が減少した。			
所管課の関わり及び 主要事業にかかる評価		「道の駅豊栄」の収益により、赤字のYショップを維持し、レンタル自転車の管理業務、観光案内業務を担ってもらっている。コロナ禍から人手の回復基調が見られ、今後の推移を見守りたい。						

2. 主要事業

事業名③		まつり・イベント支援事業						
事業概要	(概要) ①阿賀野川ござれや花火の支援 ②葛塚まつりの支援 ③福島潟文化祭の運営 ④その他イベントの開催・運営・支援等 (市政へどのように寄与・貢献するのか) ・まつり、イベントの開催・運営に関わり、賑わい創出、観光誘客などの交流人口拡大を図る。							
	事業区分	主体区分	収支区分	単位	予算・決算	令和元年度	令和2年度	令和3年度
-	-	支出額	千円	予算	0	0	0	0
				決算	0	0	0	-
活動指標①		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
阿賀野川花火大会、葛塚まつり、福島潟文化祭の実施	R4	回		3				
	R3	回		3	0	コロナ禍により全て中止。		
	R2	回		3	0	コロナ禍により全て中止。		
	R1	回		3	2	阿賀野川花火、葛塚まつりは開催。 福島潟文化祭は台風の影響により中止。		
活動指標②		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							
活動指標③		年度	単位	計画	実績	達成・未達成の理由		
	R4							
	R3							
	R2							
	R1							

所管課の関わり及び主要事業にかかる評価	商工団体、行政、当会社などと連携した事業を実施している。幅広い出資者からなる「まちづくり豊栄」は多くの主体が一体感をもって事業実施するためには必要不可欠となっている。
---------------------	---

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
役員数	9	9	9	8
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	9	9	9	8
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	9	9	9	8
その他				
職員数	22	22	22	22
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	21	21	21	21
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	21	21	21	21
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況 (市派遣職員を除く。)

令和4年7月1日 現在 (単位:人)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	21	21	21	21
	合計	22	22	22	22
年齢構成	20代以下				
	30代				
	40代	5	5	5	5
	50代	8	8	8	8
	60代以上	9	9	9	9
	合計	22	22	22	22

(3) 役員報酬・職員給与等の状況

(決算 単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(予算)
報酬・給与等	19,825	20,259	20,845	20,831
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	19,825	20,259	20,845	20,831
常勤	2,412	2,412	2,412	2,412
内 市職員分				
非常勤	17,413	17,847	18,433	18,419
内 市職員分				
平均年収(市職員を除く。)				
常勤役員				
常勤職員	2,412	2,412	2,412	2,412
見直し等の取り組み				

(4) 給与等の適正化の状況(市派遣職員を除く。)

現在の給与体系		今後の見直し予定	
●	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	●	無
	その他〔 〕		その他〔 〕

4. 財務の状況

(1) 損益計算書

(決算 単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	99,806	80,976	92,750
		営業費用	98,722	88,793	96,806
		売上原価	59,464	49,168	57,038
		事業費			
		販売費・一般管理費	39,258	39,625	39,768
	営業損益	1,084	▲ 7,817	▲ 4,056	
	営業外損益	営業外収益	321	3,973	972
		営業外費用			
		営業外損益	321	3,973	972
	経常損益		1,405	▲ 3,844	▲ 3,084
損特別	特別利益	312			
	特別損失				
	特別損益	312	0	0	
税引前当期損益		1,717	▲ 3,844	▲ 3,084	
法人税, 住民税及び事業税		531	180	180	
当期損益		1,186	▲ 4,024	▲ 3,264	
前期繰越損益					
当期末処分損益		1,186	▲ 4,024	▲ 3,264	
処利分益	利益処分額				
	次期繰越損益				

(参考)

(決算 単位：千円)

(別掲)人件費	20,259	20,845	21,436
役員分			
職員分	20,259	20,845	21,436

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産の部	資産の部合計	64,521	59,605	57,956
	流動資産	49,028	44,235	43,600
	現金預金	43,160	37,494	36,771
	受取手形			
	未収金	1,461	2,045	1,624
	有価証券			
	その他流動資産	4,407	4,696	5,204
	固定資産	15,493	15,370	14,356
	有形固定資産	13,458	13,335	11,838
	無形固定資産	57	57	540
	その他投資等	1,978	1,978	1,978
	繰延資産			
負債の部	負債の部合計	9,523	8,631	10,246
	流動負債	5,695	4,803	6,418
	短期借入金			
	その他流動負債	5,695	4,803	6,418
	固定負債	3,828	3,828	3,828
	長期借入金			
その他固定負債	3,828	3,828	3,828	
純資産の部	純資産の部合計	54,998	50,974	47,710
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金			
	剰余金	21,698	17,674	14,410
	うち当期未処分損益 (当期損益)	21,698 1,186	17,674	14,410
負債の部及び純資産の部合計		64,521	59,605	57,956

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市財政支出等の合計	110	110	110
補助金			
事業費補助金			
運営費補助金			
設備投資に係る補助金			
負担金			
交付金			
委託料	110	110	110
内 随意契約額※	110	110	110
指定管理料（公募）			
指定管理料（非公募）			
業務委託（随意契約）	110	110	110
業務委託（その他）			
貸付金（期中借入額）			
出資・出捐金（追加額）			
その他			
貸付金残高			
損失補償契約に係る債務残高			
損失補償限度額			
その他財政援助の状況 （税や使用料の減免、建物の無償貸与等）			

(市財政支出等がある場合) 目的、内容、必要性、増減理由等

JR豊栄駅前でのレンタル自転車貸し出しおよび管理業務。
JR利用者が福島潟や酒蔵など区内観光施設をめぐる利便性を考慮して実施。現状維持。

5. 経営改善状況（評価指標）

※ 評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常損益		1,405 千円	▲ 3,844 千円	▲ 3,084 千円
当期損益		1,186 千円	▲ 4,024 千円	▲ 3,264 千円
自己資本比率	純資産	85.2 %	85.5 %	82.3 %
	純資産＋負債			
流動比率	流動資産	860.9 %	921.0 %	679.3 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	26.3 %	28.0 %	27.9 %
	固定負債＋純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金）	純資産 －資本金（基本金）	21,698 千円	17,674 千円	14,410 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有	① 運用方針を明文化し、それに従って運用している。 ② 資金運用利率は市場金利の水準を確保している。 ③ 資金運用に関する情報収集に努めている。 ④ 元本割れのリスクはない。	
		無		

（2）団体の自立性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	0.1 %	0.1 %	0.1 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

(3) 経営の効率性

指標		令和元年度	令和2年度	令和3年度
総資本経常利益率	経常利益	2.2 %	▲ 6.4 %	▲ 5.3 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	1.4 %	▲ 4.7 %	▲ 3.3 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.5	1.4	1.6
	資産の部合計			
職員1人当たり 売上高	売上高	4,537 千円	3,681 千円	4,216 千円
	職員数			
職員1人当たり 経常利益	経常利益	64 千円	▲ 175 千円	▲ 140 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	39.3 %	48.9 %	42.9 %
	売上高			
職員1人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	39,258 千円	39,625 千円	39,768 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	20.3 %	25.7 %	23.1 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			

(4) 経営の適正性

① 中長期計画の策定状況	
●	有 計画名称〔ステップ・アップ2016-2(新5カ年計画)2016~2020〕 計画期間 平成28 ~ 平成32 年度
概要・数値目標	
<概要>	※交流人口を増やす施策 <ul style="list-style-type: none"> ・街中に人の集まる拠点を作る ・「葛塚市」を活用して街中を活性化する ・支援事業を継続する
	※居住人口を増やす施策 <ul style="list-style-type: none"> ・調査事業を進める ・Iターン、Uターン若者の受け入れ態勢を整える ・高齢者と若者の食を守る
	無 未策定理由

② 経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任	専門家による会計指導		
有	就任時期 年度~ 依頼先職種〔 〕	●	有 依頼時期 平成15 年度~ 依頼先職種〔 風間良光税理士事務所 〕
●	無		無

③ 事務処理改善の取組み	
●	有 取組内容 平成22 年度~
	〔 株式会社まちづくり豊栄事務専決規程 〕
	無

④ 人材育成の取組み	
有	取組内容 年度~
●	無

⑤ 情報公開に関する規定の整備状況					
有	策定時期 平成 年度~ 規定名称〔 〕	団体ホームページ掲載	●	定款等	平成22 年度~
			●	事業内容	平成19 年度~
			●	役員名簿	平成19 年度~
				役員報酬	年度~
●	無 未整備理由		●	事業報告	平成19 年度~
	〔 必要性は認識しつつも策定に至っていない。 〕		●	損益計算書	平成29 年度~
			●	貸借対照表	平成29 年度~
			●	事業計画書	平成19 年度~
		●	予算概要	平成22 年度~	

改善対応区分 A: 改善対応済(引き続き継続して実施するものも含む) B: 改善の取組の効果が始めている C: 改善の取組に着手 D: 改善の取組に向けて検討中 E: 今は実施せず今後の課題とする

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）前年度までの評価における【改善指示事項】の改善状況

改善指示事項		「まちづくり会社」としての団体のあり方を明確にし、外部環境の変化に対応した団体独自のアクションプラン（新5か年計画）の見直し・修正が必要である。				
改善のために取り組んだ内容		今年度、代表取締役の交替を期に新たな計画を策定中である。今後内容を熟慮し取締役会等で諮っていく。				
取組みによる成果		まちづくり会社としての課題、方向性を明確にする。				
改善・対応区分		A	B	C	D	E ●
改善に向けた取組み 評価指標	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	計画	策定案の検討	策定案の検討	新経営方針の策定	新経営方針の実施	
	実績	策定案の検討	策定案の検討			
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 株主総会時に経営方針を明示していた。 今後は、新たな代表取締役のもと、事業計画を策定する予定。				
	今後の課題	【取組み状況を踏まえた今後の課題】 「まちづくり会社」としての役割を担った事業の再編、創造。 不採算事業の扱い。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 行政、関係機関と連携し、また株主の意向を踏まえて方向性を定める。				

改善指示事項		道の駅について、ハード面の改修に合わせた企画・イベントを実施するなど、集客および収益向上に向けた相乗効果を発揮できる施策を検討すべきである。				
改善のために取り組んだ内容		フードトラックを集めたテラスイベントを実施。				
取り組みによる成果		道の駅利用者へのサービス向上、道の駅の魅力向上につながった。				
改善・対応区分		A	B	C	D	E ●
改善に向けた取り組み 評価指標	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	計画	利用方法の検討	イベントの実施	イベントの発展	イベントの発展	
	実績	利用方法の検討	イベントの実施			
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 R3年度、テラス広場を利用したイベントの実施。				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 効果的な時期、規模の把握。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 当面人出が予想される時期を狙ってイベントを開催し、経験値を高めていく。				
	計画	営業利率の見直し	営業利率の見直し	管理体制の再検討	管理体制の策定	
	実績	品揃えの見直し	品揃えの見直し	説明会開催済		
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 営業利率の向上を図るため、まずは個々の出店者の売上増加につながる方策を協議した。				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 コロナ禍からの回復基調ではあるが、個々の店舗の利益向上には至っておらず、道の駅利用者の増加、売上の増加が課題となる。				
	課題への対応	【今後の課題への対応】 テラスイベントをはじめとした様々な仕掛けを展開する。				

改善指示事項		赤字であるヤマザキショップ事業について、黒字転換できる方策を検討しつつ、事業のあり方、位置づけを整理する必要がある。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	品揃えの変更。模様替え実施済。					
	取り組みによる成果	若干上向き加減も、通勤・通学者の減少により、成果が伴わない。					
	改善・対応区分	A	B	C	D ●	E	
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	計画	計画	—	現状分析	品揃えの変更検討	提携社分析	
		実績	—	やや上向き			
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 コロナ禍の影響により達成が難しい状況となっている。					
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 コロナ禍での新規利用者の開拓と、需要に合った商品展開。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 JR利用者以外への販路の検討。						

改善指示事項		道の駅の運営管理事業者として、今後の法人のあり方や運営手法などについて市と協議する必要がある。					
改善に向けた取り組み	改善のために取り組んだ内容	コロナ禍からの営業回復についての協議が主となり、将来的な方向性については協議していない。					
	取り組みによる成果	コロナ禍での窮状を市から知ってもらう機会となった。。					
	改善・対応区分	A	B	C	D ●	E	
	実施事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	計画	計画	—	マネジメントの改善	計画の策定	連携事業の実施	
		実績	—	—			
	進捗状況	【令和3年度までの達成状況及び今後の見込み】 具体的な話し合いは行っていない。必要なことであるため、今後行っていく。					
今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】 具体的な連携事業の共有。						
課題への対応	【今後の課題への対応】 市の将来ビジョンを共有し、役割を担っていく。						

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	<p>コロナ禍からの社会状況の回復が進めば、大幅な赤字となっている「ヤマザキショップ豊栄駅店」の改善は進むと想定する。 しかし、改善が思うように進展しない場合は、抜本的な解決策を図る必要がある。</p>
団体の自立性	<p>株主の意向を踏まえながら、最大株主である市と連携した事業、または独自の自主事業は可能で、今後の検討課題とする。</p>
経営の効率性・適正性	<p>社会環境が厳しくなる中、今後とも細部にわたって経営の効率性・適正性を図っていく。</p>
その他	

【新たに改善を要する事項】 ※「6. 経営改善状況」に記載のもの以外で改善を要する事項を記載

今後改善を要する事項		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
評価指標	実施事項				
	計画				
	実績				
	今後の課題	【取り組み状況を踏まえた今後の課題】			
	課題への対応	【今後の課題への対応】			

【団体による総括的な評価】

<p>ここ数年、コロナ禍により収益事業に大きな痛手を受け、守勢とならざるを得なかった。 今後は、コロナ回復、またはえwithコロナにおいてもまちづくり事業が展開できるように、計画を立て、役員の総力を挙げて事業に取り組んでいきます。</p>
--

【所管課による評価】

<p>ここ数年、コロナ禍の収益事業圧迫は、株式会社である「まちづくり豊栄」の活動に影響を与えていた。しかし、コロナ禍3年目となる今年からwithコロナとしての事業展開や、区ビジョン策定に合わせたまちづくりへの参画が期待されるなど、当該社の位置づけは重要である。</p>
--